

港区保健福祉基礎調査の実施について

令和8年度に実施する次期港区地域保健福祉計画（令和9（2027年度）～令和14（2032）年度）の策定に当たり、区における高齢者、障害者、一般区民等の実態を把握し、計画策定の基礎資料とするため、「港区保健福祉基礎調査」を実施します。調査を通じ、国等の制度改正や区民生活を取り巻く環境の変化が区民等にどのような影響を与えるかを把握し、その結果を計画に反映します。

1 調査概要

(1) 調査対象・人数

	調査対象	人数
1	高齢者（65歳以上）	2,500人（無作為抽出）
	高齢者（65歳以上の介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要介護・要支援認定者）	2,500人（無作為抽出）
2	介護サービス事業所	290件（＊）
3	身体障害者（18歳以上）	4,000人（＊）
4	知的障害者（18歳以上）	600人（＊）
5	精神障害者（18歳以上）	1,400人（＊）
6	障害児（18歳未満）	500人（＊）
7	難病患者等（18歳以上）	1,000人（＊）
8	障害福祉サービス等事業所	100件（＊）
9	一般区民（15歳～64歳）	3,000人（無作為抽出）

＊対象者全数を調査するため、対象人数及び件数は実数に応じて変動します。

(2) 調査方法

対象者ごとに調査票を郵送配布し、郵送又はインターネットのいずれかで回答いただきます。

また、日本語以外の言語を使用する方も回答できるよう、インターネット回答では調査票を英語・中国語・ハングルに翻訳し、多言語で対応します。

2 各調査の目的、調査項目及び設問例

高 齢 者 調 査		設問数	123 問
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国が推奨する在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目を取り込み、介護予防や在宅介護の現状や課題を把握します。 ・心豊かに生きがいを持って活躍できる社会の実現や在宅生活を支えるサービスの充実のほか、ひとり暮らし等高齢者の増加への対応としての介護サービスの基盤や権利擁護の取組の更なる充実につながる調査とします。 ・地域共生社会の実現のため、医療と介護の連携を深めるとともに、認知症施策の充実を一層推進し、支える人、支えられる人への相談体制の強化を図り、支え合う地域づくりに向けて実効性の高い施策展開に活用します。 		
調査項目	1. あなた自身について	9. 地域での支え合いや地域活動について	
	2. 生活状況について	10. 災害に対する備えと災害時の行動について	
	3. 日常生活全般について	11. 不安や悩みの相談について	
	4. ご自身の介護予防について	12. 孤独・孤立について	
	5. いきいきプラザ等について	13. ひきこもりについて	
	6. 主な介護者について	14. 人生の最終段階における医療と介護及び在宅医療について	
	7. 介護保険制度全般について	15. 終活について	
	8. 情報通信機器の利活用について	16. 保健福祉サービスに対するご意見・ご要望等について	
設問例	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で、健康維持のために運動をしていますか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・区では、高齢者の生きがいづくり、介護予防、コミュニティ活動の場としていきいきプラザ等を整備していますが、あなたは、いきいきプラザ等を日常的に利用していますか。 		

介護サービス事業所調査		設問数	45 問
目的	・介護職員の職場環境や事業所の運営状況を把握し、介護人材対策や適正な事業所運営に向けた支援策の検討材料とします。		
調査項目	1. 回答者について	5. サービス全般について	
	2. 貴事業所について	6. 経営全般について	
	3. 組織・体制・人材について	7. 介護事業者に対する行政支援について	
	4. 外部の評価について		
設問例	・介護人材の確保策（育成・定着に繋がる取組を含む）について、行政に対して望むことは何ですか。		
	・介護保険事業を安定的に運営していくために、どのようなことが必要だと思いますか。		

障害者調査 (身体・知的・精神・障害児・難病患者)		設問数	53～67 問
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の重度化、高齢化を背景とした障害福祉サービスに対する需要を把握するために、各種サービスや施設の利用状況の詳細を確認します。 ・ 就労選択支援が開始されることを踏まえ、本人が自分に合った就労先や働き方を選択するうえで求めていることを確認します。また、本人はもとより、家族が安心して就労できる環境を整備するために求められている内容を確認します。 ・ 障害児の学校卒業後の進路希望や、長期休みの過ごし方を確認することで、多様化している障害児への支援に対する需要を確認します。 		
調査項目	【身体障害者・知的障害者・精神障害者・障害児・難病患者】		
	1. 調査票の回答者について	8. 医療的ケアの状況について	
	2. あて名のご本人について	9. 居住の場について	
	3. 通院等の状況について (難病患者等のみ)	10. コミュニケーション手段の確保について	
	3. 生活状況等について	11. 災害に対する備えと災害時の行動について	
	4. 外出の機会や日中の活動について	12. 偏見・差別について	
	5. (本人の) 就労状況について	13. 行政支援・団体支援について	
	6. 親の就労状況等について	14. 地域共生社会について	
	7. 余暇活動・文化芸術活動について		
	【障害児のみ】		
	1. 通園・通学状況について	2. 障害児通所支援について	
設問例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の障害福祉サービス等の利用状況を教えてください。 ・ 障害のある人に関する区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。 		

障害福祉サービス等事業所調査		設問数	31 問
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材不足が深刻であるため、障害福祉サービス等事業所に対し、今後、区が重点的に取り組むべき人材確保・定着支援や、サービスの質の確保に関する内容を確認します。 ・ 利用者から事業所に寄せられる意見等について、今後増加が見込まれる障害福祉サービスの提供を担う事業者の視点から、区に対して求める支援の内容を確認します。 		
調査項目	1. 回答者について	5. サービス全般について	
	2. 貴事業所について	6. 事業運営全般について	
	3. 組織・体制・人材について	7. 防災対策について	
	4. 人材確保策について	8. 行政に求める支援について	
設問例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の確保と質の向上に関する取組として港区に対して、具体的に望むことは何ですか。 ・ 利用者（保護者）から事業所に寄せられる意見等のうち、区が区民を支援すべき事項があれば、教えてください。 		

一般調査		設問数	77問
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く区民全般に関する調査として、地域での暮らしに関すること、健康に関すること、日々の生活の悩みや不安に関することなど、幅広い視点から設問を設定します。 ・ 健康に関する意識や区の実情への期待などの基本的な設問への回答を経年で比較・分析し、健康施策の大きな方向性の参考とします。 ・ こころの健康づくり、自殺対策の推進に向け、自殺企図、自死遺族への対応、効果的な自殺防止対策、ゲートキーパーの周知度を把握することで、よりの確な事業展開につなげます。 ・ 地域とのつながりや孤独・孤立、ひきこもり、終活など区民の置かれた状況や意識、行政に期待することを把握し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく健やかに安心して暮らし続けることのできる社会の実現に向けた施策の検討に生かします。 		
調査項目	1. あなた自身について	7. 孤独・孤立について	
	2. 地域での支え合いや地域活動について	8. ひきこもりについて	
	3. 健康づくりについて	9. 自殺対策について	
	4. かかりつけ医と夜間休日診療体制について	10. 終活について	
	5. 感染症について	11. 介護について	
	6. 地域包括ケアについて	12. 保健・福祉全般について	
設問例	・ あなたが心身の健康づくりに関して、意識的に実施しているものはありますか。		
	・ あなたが栄養バランスを意識した食事摂取を実施していない（できない）理由は何ですか。		
	・ あなたに不安や悩みが生じた場合の相談先と相談手法についてお答えください		
	・ 自殺対策の取組として効果的だと思うものは何ですか。		
	・ ひきこもりについて、相談したことがある、又は相談するとしたら、どの機関等に相談したいと思いますか。		
	・ 終活について、実施していること、今後実施する予定があること、興味があることを教えてください。		

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年8月	港区地域保健福祉推進協議会（調査概要について報告）
9月～10月	調査実施
10月～	集計・分析
令和8年5月～6月	港区地域保健福祉推進協議会（調査結果について報告）